



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

〒320-0066 宇都宮市駒生1丁目1番6号 コンセーレ (栃木県青年会館)  
CONCERE 1-1-6 KOMANYU UTSUNOMIYA CITY TOCHIGI JAPAN 320-0066

(2015~2016) ROTARY CLUB OF UTSUNOMIYA SATSUKI

TEL 028-624-1417 FAX 028-624-1843 URL <http://www.facebook.com/satsukiRC>

## 宇都宮さつきロータリークラブ 会報

### 第 81 回 例会

日 時 : 2016年5月16日 (月)

19:00~20:00

会 場 : コンセーレ

・開会	篠東 雅仁 SAA
-----	-----------

・点鐘	夏目 公彦 会長
-----	----------

・ロータリーソング (奉仕の理想) 斉唱	
----------------------	--

・ビジター紹介	夏目 公彦 会長
---------	----------

- ・佐藤 節 特別代表 (宇都宮陽北 RC)
- ・エルデム (米山奨学生)

・会長挨拶	夏目 公彦 会長
-------	----------

ゴールデンウィークを挟んで、少し間が空きましたが、4月25日(月)の坪井先生の特別講演会では、いろいろとお手伝い頂きまして、皆様お疲れ様でした。盛況に終わり良かったなと思います。

5月12日(木)は、宇都宮三陽・さつきロータリークラブ合同例会、たくさんの会員の出席、ありがとうございました。

5月19日(木)は、米山奨学生を受け入れ、エルデムさんの歓迎会をやるという事で児玉さんに企画して頂きました。まだ参加人数が集まっていないようですので、皆様ご協力お願い致します。

本日は、次期会長卓話を頂きます。石川さん宜しくお願い致します。

例会終了後、理事会があります。国際大会の最後の打合せもありますので関係している方は残ってください。

・幹事報告	湯澤 敦史 幹事
-------	----------

- ・以前にもお伝えしましたが熊本地震災害義援金のお願いが来ております。これまで何度か一人1000円程度で出しておりました。理事会において決定したいと思います。
- ・宇都宮市青少年タイムカプセル開封記念事業への協力について(依頼)について、市長よりクラブ宛に実行委員会への参画についての依頼が来ております。
- ・5月19日(木)に米山記念奨学生エルデムさんの歓迎会が午後6時30分からコンセーレカトレアルームで行われます。奮ってご参加ください。

・委員会報告	各委員長
--------	------

なし

・出席報告	滝川 悦子 出席委員
-------	------------

会員総数24名 出席17名 出席率 70.83%

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

・スマイル報告

滝川 悦子 出席委員

- ・佐藤 節（宇都宮陽北 RC）5月8日、市内10ロータリー親睦ゴルフ大会、多数の参加感謝してます。
- ・夏目 公彦（宇都宮さつき RC）エルディムさん、ようこそさつきロータリークラブへ。これから宜しくお願い致します。
- ・齊藤 昇吾（宇都宮さつき RC）4月25日（月）第79回例会、坪井節子弁護士講演会感動しました。夏目会長、湯澤幹事に感謝いたします。

・卓話

石川 均 会長エレクト

『2016-17年度クラブ会長方針と計画』



石川 均 会長エレクト

皆さまこんばんわ。初めに、先月（4月）の「熊本地震」により亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。熊本、大分ではいまだに活発な地震活動が続いており、加えて雨による土砂災害への注意も必要との事ですが、一日も早く日常が戻ることを願っております。

（参考）5月11日現在・死者49人、不明1人、重症345人、軽症1,249人、関連死18人、避難者1万1,600人、住宅被害 全壊2,714棟、半壊4,509棟、一部損壊2万8,001棟

さて、季節は5月、陰暦では当クラブの名前でもあります皐月（さつき）の頃となりました。皐月の語源は、早苗を植える月の「早苗月（さなえづき）」が略され、「さつき」になったとする説があるようです。また、漢字の「皐（さ）」には「神に捧げる稲」の意味があるため、皐月が当てられたとも言われております。いづれにしても、年間を通じて最も過ごしやすい季節となりました。

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

早いもので、7月から新年度ということですので、本日は、次期会長卓話の時間をいただきました。2016-17年度の当クラブの運営方針と活動計画について、お話しさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

まずは、2016-17年度国際ロータリー会長はジョンF・ジャーム氏であります。米国テネシー州 CHATTANOOGA (チャタヌーガ) ロータリークラブ所属で、現職はエンジニアリングのコンサルティング会社の理事長兼 CEO であり、前職はアメリカ空軍に4年間在籍していたとの事です。ご家族はジュディ夫人と4人のお子さん、6人のお孫さんがいます。ちなみにチャタヌーガはテネシー州南東部に位置する商工業および観光都市で、人口は173,000人。ちょうど小山市、栃木市より少し大きい規模であります。市名の由来はこの地に先住したインディアン部族のチェロキー族の言葉で「岩が迫り来る場所」という意味だそうです。その一方で、原住民族であったチェロキー族が強制移住を余儀なくされた悲しい歴史のある場所です。

2016-17年国際ロータリーテーマは「人類に奉仕するロータリー」であります。ロータリー111年の歴史を顧み、会員はロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びととの絆を育み、キャリアを築き、ほかでは味わえない貴重な経験をする。語らい、笑い、アイデアを分かち合うために集う。私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標である「奉仕」のためだと述べられております。そして、この伝統を継承する名誉を授けられた私たちは奉仕を実践していく責務があると会長メッセージを結んでおります。

また、2016-17年度国際ロータリー第2550地区ガバナーは栃木秀磨氏であります。足利わたらせロータリークラブ所属で医療法人とちの木会栃木産婦人科医院院長であります。ガバナーメッセージとしては「元気なクラブ作りと誠実な職業奉仕」を掲げられました。

ロータリーは「親睦」と「奉仕」の2本柱で支えられているがゆえに、どちらが失われてもクラブは崩壊するとの危機感を持たれております。また、例会の目的、重要性についても訴えられました。

最近の話題の中にも、旭化成建材の杭工事施工不具合および施工データの転用、加筆、改変問題や東亜建設工業の羽田空港C滑走路の耐震強化工事でのデータ改ざん、三菱自動車における意図的な燃費データ不正問題、更にタックスヘイブン（租税回避地）の利用者情報流出、いわゆる「パナマ文書」問題等々、が挙げられますが、私たちもロータリーのエンブレムは「商売における信用の証」であるとの認識を肝に銘じ、誠実な職業奉仕の実践を行っていききたいものであります。

次に、2016年7月1日からロータリー財団100周年に入ります。韓国での2016年国際大会を始まりとして、米国アトランタでの2017年度国際大会までの丸1年間、様々な記念行事が企画開催されます。当クラブにおきましても「世界で良いことをしよう」のロータリー財団の基本理念を再認識し、今後のクラブ運営に生かせればと思います。

さて、当クラブも実質3年目の年度を迎えます。(加盟認証2014年6月17日) 会員各位におかれましては、少しずつロータリーの理解が進んでいると思いますが、国際ロータリーおよびクラブ定款にも定めた「ロータリーの目的」が更に活発に実践されることを期待されていると思います。その理想の実現に向けて、2016-17年度の当クラブのテーマを「会員相互の理解を深め、楽しいロータリーを実践しよう。」とさせていただきます。

Be a gift to the world  
世界へのプレゼントになろう

「相互理解」や「楽しい」という表現は今更ながらとの印象もあろうかとは思いますが、「本当にお互いを理解しているのかどうか？」また、「本当に楽しく活動に参加しているのかどうか？」を改めて考えたいと思いました。

「年に1度、親の顔を見る。もし、親が30年生きるとしても、後30回しか会えないという事実。親は気づいているのだろうか？」(ヒューマン・コンシャス ジャパンFMネットワークのラジオCM)こんなCMを聞いたことがあるかと思いますが、私たち会員は相当な時間を共有しております。であればこそ、お互いに有意義な時間を過ごせる様にしていければと思います。

2016-17年度の年間スケジュール(案)によれば、第88回から第129回の42回例会、クラブ協議会、クラブフォーラム、親睦会が予定されております。みんなが楽しく参加出来る会の運営に努めてまいりますので、よろしくご協力ください。

そして、当クラブの特徴(強み)は、何といたっても、会員構成の多様性と専門性であると感じております。会員個々の知識や経験、幅広いネットワークを十分に生かすことが、充実したクラブ運営と互いの成長が図れるものと思います。また、柔軟性と革新性のあるクラブになっていくことは、設立当初より地域の求めるところでもあり、先輩クラブの期待するところでもあります。

ここからは、本年度の具体的取組についてお話しいたします。

活動方針は7つ、

#### 1 RI テーマとガバナー方針の理解と実践

先にふれました通り、RI テーマとガバナー方針は私たちの活動の軸となる部分であります。折に触れその趣旨を確認しながら、当クラブの方向性を決めていきたいと思いません。

#### 2 例会プログラムの充実と出席率向上

会員卓話、招待卓話、ロータリアン卓話、クラブ協議会、クラブフォーラム、合同例会、懇親会等々、内容、バランスに考慮し、とにかく楽しく、ためになる内容でやっていければと思っております。

#### 3 各委員会活動の充実

各委員長、委員の方とのコミュニケーション推進を心がけてまいります。些細なことでも話し合える雰囲気作りをしていきたいと思いません。

#### 4 会員増強

2016年の国際ロータリー規定改正でも大幅な入会資格の緩和がなされたようですので、積極的に増強活動を進めたいと思いません。

特に職業分類についても、年齢構成についても、更に幅広い仲間が集まれば良いと思いません。

#### 5 会員親睦の充実

繰り返しになりますが、「親睦」と「奉仕」はクラブ活動の基本でもありますので、更に内容も工夫して、懇親の機会も増やしたいと思いません。また、現在定例化されております3陽さつき合同例会などと同様、他クラブとの合同例会も機会があれば開催してまいりたいと思いません。

## 6 IT化の推進

武田さんには地区のソーシャルメディア委員会にも参加いただいておりますが、当クラブとしても会員相互の情報交換に留まらず、地域への活動内容のPRにも活用できればと思います。

## 7 戦略計画の協議

本年度は今までの活動実績を踏まえ、戦略計画（中長期計画）協議の機会をつくりたいと思います。会長・幹事・委員長の単年度での改選はロータリーの不変のルールではありますが、クラブの未来像を十分に協議し、会員共通の課題として据えることで、更にクラブ活動の活性化につながればと思います。

以上、7つを活動方針といたします。

また、当クラブでは初めて米山記念奨学生・エルデムさんを受け入れております。児玉カウンセラーには大変ご苦勞掛けるとは思いますが、1年間、クラブ全体でしっかりサポートしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

もうひとつのご提案として、例会場変更をあげさせていただきます。当クラブ設立以来、この場所をお借りしてきましたが、会員増強等を考えると会場の手狭感は否めません。皆さまのご同意がいただければ、竹林町にありますトヨタウッドユーホームすまいるプラザ内のギャラリーへの移動を行いたいと思っております。

それと、委員会編成につきましても若干の課題が残っておりますので、皆さまの理解とご協力のもと、適宜対応させていただきたいと思っております。

結びになりますが、2014-15年度（和知年度）、2015-16年度（夏目年度）の功績に恥じないように、そして、2017-18年度（武田年度）に少しでもクラブが良くなったと評価いただきながらバトンを渡せればと思っております。特に、齊藤次期幹事には細々とした実務をお願いしなければなりません、どうぞよろしくお願いいたします。

この1年間、「好意と友情」を深められるようなクラブ運営のために努力してまいりたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力を心よりお願いいたしまして、次期会長卓話を終了とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

・ 点鐘	夏目 公彦 会長
------	----------

・ 閉会	三森 富雄 SAA
------	-----------